



だ い し っ 子

～青少年対策西新井地区委員会だより～

青少年対策西新井地区委員会は、地域の町会・自治会・学校関係者等で構成された青少年の健全育成を目的に活動している団体です。



「地区対会長ごあいさつ」

青少年対策西新井地区委員会
会長 栗田 泰夫

日頃より青少年対策西新井地区委員会（以下地区対）に対しまして、温かいご理解ご協力ご支援を頂き、心より厚く御礼申し上げます。

元号も平成から令和になり新たな気持ちの下、新しい令和元年度のスタートを切ることができました。地区対の活動につきましては、各事業を実行委員会形式で推進しており本年度で足掛け十年目になりました。

当初の目的は、理事と委員との意思疎通を図り活動の透明性を高



「協議会会長ごあいさつ」

西新井地区町会・自治会協議会
会長 白石 正輝

青少年対策西新井地区委員会の「だいしっ子60号」の発行にあたり一言ご挨拶申し上げます。

良い時代が続き、人々のころが和む事を願い命名された「令和」元年早々、川崎市で突然おこった、学校への通学バスを待っている、何んの罪もない子どもたちを無差別に殺傷した事件は、安全で安心な町づくりをめざす私達足立区にとっては驚愕の事件でした。

通学の安全はもちろん、いつでもどこでも、子どもたちにとって町は安全なものであってほしいと願うのは総ての親にとり最大の願いであると思います。
子ども達が町にあふれ、元氣一

め、地区対を活性化し活動を通して、お互いに尊重しあい『和』を構築することでした。
年々その考え方が浸透して十年目を迎える昨今、理事会や各実行委員会では活発な意見や提案がなされ、目的や課題に沿っての議論が展開されるようになって参りました。

「親と子のふれあい音楽祭」は、『地域の輪（和）』と『音を楽しむ』をコンセプトに西新井地区対管内の小・中・高の三校種が垣根を越えて出演するこの地域ならではの音楽祭と位置付けています。

子どもたちが健やかに育って欲しいという思いは、保護者の方々を始め学校・地域の方々の切なる願いだと思えます。音楽は心を豊かにし、子どもたちの成長に多大な影響をもたらします。

西新井地区対では十二年前に地域の学校担当青少年委員を中心にこの音楽祭を立ち上げ、今に続いています。

この音楽祭を運営する委員会には、地区対の委員全員が参加しており、それぞれの役割を決め活動しています。また、この音楽祭には例年十校近くが参加をしてくれますが、幸いなことにそれらの学校が一堂に会することが出来るホールがこの地区にはあります。ギャラクシיתי（西新井文化ホール）です。

初回から今日まで主にこのホールで音楽祭を催していますが、八年前は東日本大震災が音楽祭の前々日に起き、音楽祭は中止となりました。その後二年間はこ

令和元年度 親と子のふれあい音楽祭

のホールが使用出来なくなり、都立足立工業高校のご厚意で体育館をお借りして開催しました。

例年、年度末の三月に音楽祭を開催していますが、各学校の先生方には大変なご協力をして頂いております。そして、音楽祭当日には多数の生徒の皆さんが手伝ってくれます。毎年、ご来賓の皆様始め、多くの保護者・地域の皆様も子どもたちの音楽を楽しみに来て頂いておりますが、今年の

三月十日に開催された（第十一回）親と子のふれあい音楽祭でも会場が満員になりました。そしてステージの最後に、参加した子どもたちと、会場の皆さん全員とで『故郷』を合唱したことが忘れられません。（第十二回親と子のふれあい音楽祭）は来年度の三月八日（日）に開催予定です。多数の方々のご来場をお待ちしております。この音楽祭、初期の頃に参加した小学生も二十歳前後になり一つの歴史を感じます。更に、この地域に定着してくれればと願っています。

運営委員長 中村隆之

